

御 挨 拶

公害防止対策委員長 大 藤 真

本学の公害防止対策委員会は昭和46年に設置され、大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染、騒音などの公害防止対策に努めてきております。

とくに教育・研究活動を行なう大学の特殊性に鑑み、水質汚濁の防止対策に力を注ぎ、その結果昭和50年5月に工学部構内に特殊排水処理施設が設立され、じ来同施設において全学の無機廃液の処理が行われるようになりました。引き続き、それ迄各個に処理されておりました有機廃液の全学的処理につきましても、各学部からの要望が高まり、昭和52年3月に有機廃液処理施設が併設されるに至りました。

そして、この二つの施設を岡山大学共同利用の廃液処理施設として統合し、昭和53年7月、あらためて岡山大学環境管理施設と称することになりました。

じ来今日迄、本管理施設は本学の教育・研究の結果として出される公害物質の防除のセンターとして多大の成果をあげてきております。

とくに本管理施設におきましては、先ず有機廃液部門におきまして、昭和53年10月から11月にかけて有機廃液処理技術指導員講習会を開き、引き続き各学部にわたる技術指導員制度を導入し、さらに無機廃液部門におきましても、昭和54年7月より同じく技術指導員制度を導入しております。また処理を円滑に運営するため、両部門とも「利用の手引き」を作製し全学の関係者に配布しております。

このような優れた運営のシステムの下に、施設長をはじめ施設の職員の皆様が、本学の環境保全のために絶大なる御努力をはらわれておりますことに対しまして、私はあらためて深甚の敬意と謝意を表する次第であります。

本岡山大学環境管理施設報は昭和53年創刊の岡山大学特殊廃水処理施設年報をうけて、昭和54年9月に創刊されておりますが、全学の施設利用者にとりましては、本施設報は施設の運営の状況を知るうえにきわめて重要なものだと思います。

公害防止対策委員長として本施設報に執筆を依頼されましたが、昨年委員長に就任以来、本学環境管理施設の皆様の不断の御活動に対し、衷心より感謝申し上げますので、意はつくせませんが、こゝでは謝辞のみ申し述べさせて戴き、今後ともよろしく御願い申し上げる次第であります。